

公園のみどころ紹介

秋のドングリ観察

みのりの秋！桑袋ビオトープ公園でも多くの木々が実をつけています。中でも人気なのがドングリ（木の実）です。皆さん、ドングリにはいろいろな種類があるのを知っていますか？今回は、園内で見つけれられる3種類のドングリの見分け方を紹介します。ポイントはドングリの形と、殻斗と呼ばれるいわゆる帽子の部分です。



まんまる・トゲトゲ

クヌギのドングリは丸くて、よく転がる形をしています。また殻斗はトゲトゲで、麦わら帽子のような形をしています。笛として遊ぶこともできます。

細長・ベレー帽

コナラのドングリは細長くてつやつやしています。殻斗はウロコもようで、まるでベレー帽を被っているように見えます。



ふっくら・しまもよう

アラカシのドングリはコナラと比べて、ふっくら丸みを帯びています。殻斗は横じまもようで、例えるならば浅めに被ったニット帽かな！

他にも身近な公園では、チューリップのような形の殻斗に包まれたスダジイや、とても硬いマテバシイ、アラカシにそっくりなシラカシなどをみることができます。ドングリを観察しながらの公園散策はいかがでしょう。【解説員 関根】

イベント報告

7月27日(日)実施

つかまえて観察！生きもの図鑑作り～夏編～

生きものを捕まえて、観察しながらスケッチや特徴を記入し、自分だけの図鑑を作りました。参加者の皆さんは、じっくり観察することで新たな発見をしたり、生きものをより身近に感じたりしているようでした。春編に参加した人は、季節による生きものの変化にも気付いていました。図鑑作りは春・夏・秋・冬の年4回実施予定で、秋編は10月5日(日)です（※表面参照）。その日に参加した全員がつくった図鑑も手に入りますよ。一緒に図鑑作りに挑戦してみませんか。



ビオトープ生きもの図鑑

NO.104 ムラサキツバメ



見つけやすい ← ★ → 見つけにくい

翅の表は紫色で、ツバメの尾のような尾状突起があるのが特徴のシジミチョウの仲間です。翅の裏は落ち葉に似た茶色なので捕まえた際は地味に見えます。

ご利用案内

開園時間

2月～10月
9:00～17:00

11月～1月
9:00～16:30

休園日

月曜日
(祝日の場合、直後の平日)
年末年始
(12月29日～翌1月3日)

無料

駐車場 無料(11台)

お問い合わせ先

桑袋ビオトープ公園(あやせ川清流館)

〒121-0061

足立区花畑8-2-2

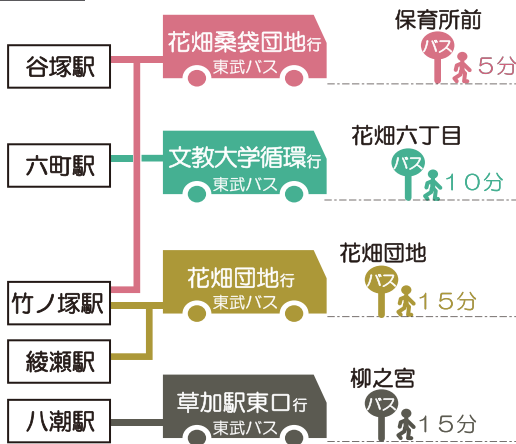
TEL: 03-3884-1021

FAX: 03-3884-1041

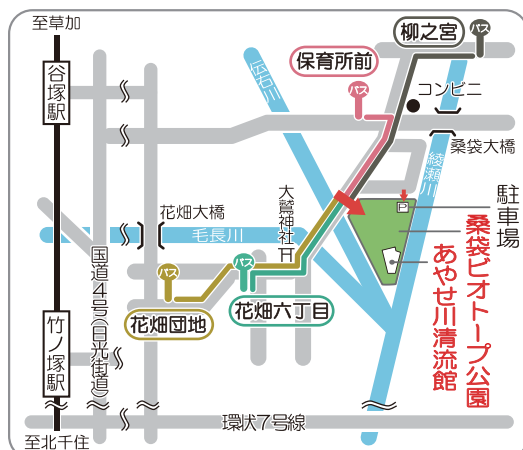
HP: <https://ces-net.jp/biotop/>

E-mail: bio-park@ces-net.jp

交通案内



桑袋ビオトープ公園



HP



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram



※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけない場合があります。



足立区
2025年9月発行